



Good Cooking

鯵の南蛮漬け [4人分]

アジは5月から夏にかけて旬をむかえます。たまねぎも新たにまねぎが出始めているころなので、旬の食材を取り入れ、夏に向けて、肉体的・精神的にも身体の調子を整えましょう。



Good Cooking

ポイント

一晩漬けると、アジ・野菜共に味が浸みこみ、一層おいしく食べられます。また、漬け込むことで骨もやわらかくなり、魚を丸々食べられます。

材料 / 分量

小あじ	12匹
小麦粉	適量
油	適量
たまねぎ	40g
にんじん	40g
ピーマン	40g
A	
しょうが	少々
とうがらし	1本
酢	大さじ3
しょう油	大さじ2
砂糖	小さじ2
水	小さじ2

作り方

- ① 野菜を薄い千切りに切る。
- ② アジのはらわたと、ウロコをとる。
- ③ アジに小麦粉をつけ、油で揚げる。
- ④ Aの調味料をあわせる。(しょうがは千切り、とうがらしは、半分に切って種をとる。)
- ⑤ 合わせたAに揚げたアジ、野菜をつけ、冷蔵庫で3時間程度漬けておく。

Good Cooking



IMSグループからのお知らせ

医療・介護のことでお悩みはありませんか?

IMSグループIMS総合サービスセンターが、みなさまからの医療・介護のご相談をお受けいたします。
詳しくはホームページをご覧ください。

来訪もしくは、お電話かホームページ[メールフォーム]よりお問い合わせください。

FREE 0800-800-1632

*「050」からはじまるIP電話および国際電話からはご利用いただけません。

03-3989-1141 (代表)

受付時間／平日8:30～17:30 土曜日8:30～12:30(日祝・年末年始休み)

IMS総合サービスセンターのサービス内容や、IMSグループの最新情報をご覧いただけます。

<http://www.ims.gr.jp/gscenter/>

〒170-0013 東京都豊島区東池袋1-21-11 オーク池袋ビルディング8F

皆さまの声を聞かせてください!

IMS三芳総合病院では、よりよい病院づくりをすすめるため、患者さま・地域の皆さまのご意見を募集しています。ご意見は下記FAX、E-mailまたは院内インフォメーションカウンターに設置のご意見箱まで。皆さまの貴重なご意見をお待ちしております。

FAX : 049-274-7016 E-mail : renkei.mkh@ims.gr.jp



イムス三芳総合病院

「プラザIMS」は、患者さま、ご家族のみなさまに院内やIMSグループの医療活動、病気に関する情報をお伝えするコミュニケーションペーパーです。

Good Cooking



公開講座のご紹介

移転し3か月が経過いたしました。当院では、移転後より毎月1回、医師やコメディカルスタッフによる講座を無料で実施しております。今回は3月・4月に実施いたしました講座を簡単にご紹介いたします。今後も引き続きこのような講座を実施していくきますのでご興味ある方は、ぜひご参加ください。

第1回 公開講座

『加齢により苦痛となる排尿異常について』 快適な排尿を目指して!

3月26日(水)に石田院長による『加齢により苦痛となる排尿異常について』快適な排尿を目指して!を実施いたしました。

病院移転後、第一回目となる今回…81名と非常に多くの方々にご参加いただきました。

講義終了後にはご参加いただいた方々から「こういった講義はたくさん行ってほしい。また次回も参加します」などの嬉しいお言葉をいただくことができました。



第2回 公開講座

『白内障について』

4月24日(水)に眼科大井先生による『白内障について』の公開講座を行いました。

参加された方々は、スクリーンに目を向け先生の話にうなずき、興味を示してくださいました。白内障の手術についてもイラストで分かりやすく解説するようにいたしました。講義終了後の質疑応答では参加された方の不安を取り除くように一つひとつ丁寧に説明し、理解を深める公開講座になりました。



第1回 健康体操

4月25日(木)新病院に移転し初の試みでもある健康体操を、リハビリテーション科の大森技士長を講師として行いました。健康体操は、マット、ポール等を使用し正しい姿勢に近づけることを目標にしております。

今回参加された方は、普段使わない筋肉や伸縮運動を繰り返し、上手くできる方もいれば、ぎこちない動きで苦戦されている方もいました。体操終了後には、体験された方から『無理なく正しい姿勢を維持できる』『楽しかった』などの声が飛び交い終始和やかな雰囲気でした。





新任医師のご紹介

内科医師
賀田 茂雄外科医師
福田 千文外科医師
岡本 史樹内科医師
孫田 淑代

今まで非常勤循環器外来(週2回)を担当しておりましたが、4月より常勤として外来週4回と一部入院患者さんも診ることになりました。今後ともよろしくお願いいたします。

これまで主に消化器を中心に勉強して参りました。消化器がんに関しては、診断→治療→緩和医療まで、又、内視鏡では早期癌に対するEMRやESDにも取り組んでいます。何卒宜しくお願い申し上げます。

救急センターのご紹介

救急センター受付



救急センター



平成25年3月1日に新築移転し、環境や設備の充実に職員も心機一転
新たな気持ちでスタートしてから一ヶ月が経過しました

当院は、24時間365日対応できる救急医療の充実を図るため、従来の救急外来から救急センターとして生まれ変わりました。

周辺地域の救急患者さまを受け入れ、初期治療に始まり緊急的な治療、入院加療および手術等の継続した治療が出来る病院体制を整えることが出来ました。今回は、独立した救急センターの受け入れについてご紹介したいと思います。

救急センターの入口は2面あり、同時に2台の救急車の接続が可能です。救急センターエリアに診察室を整備し、処置室エリアには、通常の外科処置のほかに緊急手術が可能な多目的処置室を整備しています。

さらに、救急センターの自動開閉扉からX線室およびCT室も併設しているため、スムーズに検査まで対応することができます。センター入口の一方に汚染処置室を備え、除染の必要な救急患者さまも受け入れられる特徴があります。

また、常勤医師の増員により、常勤医による当直の割合が増えたことで、夜間から日中にかけての情報共有が円滑になりました。

救急センターは、今後さらにトリアージを充実させ、より専門的で明瞭・的確・円滑な医療および看護を提供できるように取り組んでいきたいと考えています。

透析センターとは



慢性腎不全の患者さまに人工腎臓を用いて行う血液透析を施行する治療室です
入院透析にも対応しており、各診療科と連携した治療体制をとっています

旧イムス三芳総合病院で6年前よりベッド数12床、月水金、火木土ともに午前・午後の2クールで治療を行っておりました。この度移転に伴い、On-Line HDFにも対応可能な多用途透析用監視装置(DCS-100NX)を5台追加し、ベッド数17床となりました。

最新の透析液製成装置(DAD-50NX)および透析液供給装置(DAB-NX)を導入することで、透析液清浄化・安全性にも努めています。また透析通信システムを導入し装置を一括管理することで患者さまが安心して質の高い透析を受けていただける環境作りをしております。

全ベッドに液晶テレビを設置しており患者さまが快適な透析時間を過ごせるようにしております。また通院には送迎車のご利用も可能です。

透析センター内の見学は随時行っておりますので、お気軽に当院ソーシャルワーカーまでお問い合わせください。

